



平成 23 年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 7 月 14 日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サダマツ

コード番号 2736 URL http://www.sadamatsu.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 磯野 紘一 (TEL) 03 (5768) 9957

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 7 月 15 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 8 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 9 月 1 日~平成 23 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 8 月期第 3 四半期	5,371	0.4	140	96.3	110	230.4	40	—
22 年 8 月期第 3 四半期	5,348	△2.1	71	△47.3	33	△48.4	△24	—

	1 株 当 たり 四半期純利益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	円 銭	円 銭
23 年 8 月期第 3 四半期	3.63	3.59
22 年 8 月期第 3 四半期	△2.20	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 8 月期第 3 四半期	5,698	1,277	22.3	114.32
22 年 8 月期	5,488	1,272	23.1	114.38

(参考)自己資本 23 年 8 月期第 3 四半期 1,268 百万円 22 年 8 月期 1,269 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 8 月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23 年 8 月期	—	0.00	—	—	—
23 年 8 月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 8 月期の連結業績予想 (平成 22 年 9 月 1 日~平成 23 年 8 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株 当 たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,300	1.4	240	39.7	180	72.3	30	300.8	2.70

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年8月期3Q	11,387,000株	22年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	23年8月期3Q	289,480株	22年8月期	289,480株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年8月期3Q	11,097,520株	22年8月期3Q	11,093,565株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の活性化の影響を受け、企業収益や個人消費に回復の兆しが見え始めていましたが、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、再び経済不安に見舞われることになりました。流通業界におきましてはこの震災の影響を受け一時的に自粛ムードが高まりましたが、被災地の復興や日本経済の底支えへの期待を反映した積極的な消費の喚起が比較的早くから見られました。本当に必要なものかどうかという物事の本質を見極める消費者の視点はより厳しくなるなかで、人々の絆やつながりを重んじる消費動向へと変化していく状況でありました。

このような経済環境のもと、当社グループは引き続き期首から掲げる経営戦略の実践に努めてまいりました。特に震災以降、国内小売事業では当社の取り扱うジュエリーが人々の絆やつながりを象徴するものとして担うべき社会的役割を、従来からの経営理念に沿って再確認し事業推進を行なってまいりました。当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、震災の影響により3月度こそ前年同月を大きく下回ったものの、それ以前の堅調な業績が支えとなり、前年同期に比べ売上高は微増、利益面では大幅増となりました。主要事業部門である(株)サダマツではこの3月度の落ち込みが影響し、売上高は前年同期に比べて若干ながら下回りましたが、ベトナム工場の有効利用による売上総利益率の向上が引き続き効を奏する形で収益性が増し、加えて費用に関しては一定の水準を維持できたため、前年同期比で営業利益は81.4%増、経常利益は222.2%増とそれぞれ大幅に改善いたしました。

連結業績を構成する海外小売部門である在台湾子会社と海外生産部門である在ベトナム子会社に関しては、事業規模は僅少なながら引き続き経営理念にもとづき当社グループ内の相乗効果の最大化を目指して事業推進してまいりました。特に、在ベトナムの子会社D&Q JEWELLERY Co., Ltd. (日本名：(株)ディーアンドキュー ジュエリー)の製品による親会社サダマツでの売上貢献度は堅調に推移し、中長期的にその構成比の向上が十分に見通せる状況となりました。

連結業績の内、経常損益に影響を及ぼす営業外費用に関しましては、支払利息が主なものとなります。また、特別損益に関しては、平成23年3月31日に公表しましたとおり、固定資産の譲渡として土地建物の売却による特別利益を29百万円計上しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,371百万円(前年同期比0.4%増)、販売費及び一般管理費は3,100百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は140百万円(前年同期比96.3%増)、経常利益110百万円(前年同期比230.4%増)及び四半期純利益40百万円(前年同期は損失24百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ210百万円の増加となりました。その要因は主に、商品及び製品が211百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加いたしました。その要因は主に、支払手形及び買掛金が152百万円増加、未払金及び未払費用が51百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。その要因は主に、四半期純利益40百万円、配当金の支払22百万円、為替換算調整勘定が18百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.3%となり、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,179百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は87百万円（前年同期は122百万円の使用）となりました。その要因は主に、たな卸資産の増加245百万円があったものの、仕入債務の増加152百万円、税金等調整前四半期純利益130百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は10百万円（前年同期は1百万円の獲得）となりました。その要因は主に、有形固定資産の取得による支出35百万円があったものの、有形固定資産売却による収入50百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は94百万円（前年同期は29百万円の使用）となりました。その要因は主に、長期借入れによる収入350百万円があったものの、短期借入金の純減額61百万円、長期借入金の返済による支出335百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月期連結累計期間における業績予想につきましては、依然として東日本大震災による日本経済への影響は考慮に含めるもの、現時点では平成22年10月13日の公表値からの変更はありません。業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する企業基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

②表示方法の変更

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,402	1,187,188
受取手形及び売掛金	612,325	551,882
商品及び製品	2,429,670	2,217,830
原材料	309,590	279,224
繰延税金資産	25,950	13,661
その他	71,514	69,728
貸倒引当金	△844	△866
流動資産合計	4,627,610	4,318,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,626	202,433
減価償却累計額	△102,417	△103,678
減損損失累計額	△3,718	△10,197
建物及び構築物(純額)	108,490	88,557
機械装置及び運搬具	47,771	55,680
減価償却累計額	△27,653	△28,291
機械装置及び運搬具(純額)	20,118	27,388
工具、器具及び備品	134,212	133,808
減価償却累計額	△93,684	△90,858
減損損失累計額	△904	△1,168
工具、器具及び備品(純額)	39,622	41,780
土地	123,079	140,963
リース資産	55,609	37,218
減価償却累計額	△10,821	△3,490
リース資産(純額)	44,787	33,728
有形固定資産合計	336,098	332,418
無形固定資産		
リース資産	6,206	7,511
その他	17,040	19,428
無形固定資産合計	23,246	26,940
投資その他の資産		
投資有価証券	96,433	97,130
繰延税金資産	58,252	134,839
差入保証金	451,438	459,115
その他	112,876	123,939
貸倒引当金	△7,286	△4,875
投資その他の資産合計	711,714	810,148
固定資産合計	1,071,059	1,169,507
資産合計	5,698,669	5,488,156

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	558,748	406,310
短期借入金	2,659,019	2,687,001
1年内償還予定の社債	90,000	40,000
未払金及び未払費用	342,909	291,222
未払法人税等	30,803	44,959
賞与引当金	51,000	22,400
その他	122,776	108,088
流動負債合計	3,855,257	3,599,984
固定負債		
社債	—	70,000
長期借入金	391,000	409,976
退職給付引当金	104,021	93,194
長期リース資産減損勘定	1,869	5,942
その他	69,132	36,358
固定負債合計	566,023	615,472
負債合計	4,421,280	4,215,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	58,906	40,811
自己株式	△27,096	△27,096
株主資本合計	1,325,903	1,307,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△322	△205
為替換算調整勘定	△56,874	△38,302
評価・換算差額等合計	△57,196	△38,507
新株予約権	8,682	3,399
純資産合計	1,277,389	1,272,699
負債純資産合計	5,698,669	5,488,156

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)
売上高	5,348,166	5,371,260
売上原価	2,181,783	2,130,145
売上総利益	3,166,382	3,241,115
販売費及び一般管理費	3,094,786	3,100,570
営業利益	71,595	140,545
営業外収益		
受取利息	548	1,377
受取家賃	857	857
協賛金収入	220	398
為替差益	—	4,517
その他	1,565	6,297
営業外収益合計	3,192	13,446
営業外費用		
支払利息	38,036	39,978
社債利息	1,312	940
社債発行費償却	920	—
社債保証料	540	389
その他	496	2,041
営業外費用合計	41,305	43,350
経常利益	33,482	110,641
特別利益		
固定資産売却益	—	29,104
受取補償金	90	—
ポイント引当金戻入額	1,414	—
特別利益合計	1,504	29,104
特別損失		
店舗閉鎖損失	12,237	4,995
固定資産除却損	135	—
貸倒損失	285	—
減損損失	—	3,560
その他	469	316
特別損失合計	13,127	8,873
税金等調整前四半期純利益	21,859	130,873
法人税、住民税及び事業税	27,047	26,205
法人税等調整額	19,183	64,377
法人税等合計	46,231	90,582
少数株主損益調整前四半期純利益	—	40,290
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,372	40,290

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
売上高	1,759,098	1,621,258
売上原価	793,968	650,080
売上総利益	965,129	971,178
販売費及び一般管理費	983,047	998,662
営業損失(△)	△17,918	△27,484
営業外収益		
受取利息	313	509
受取家賃	285	285
為替差益	4,308	—
その他	57	2,811
営業外収益合計	4,965	3,606
営業外費用		
支払利息	13,700	13,318
社債利息	409	283
社債保証料	162	112
為替差損	—	3,559
その他	22	4
営業外費用合計	14,294	17,277
経常損失(△)	△27,248	△41,154
特別利益		
固定資産売却益	—	29,104
ポイント引当金戻入額	471	—
貸倒引当金戻入額	59	67
特別利益合計	530	29,172
特別損失		
店舗閉鎖損失	8,331	—
固定資産売却損	2	—
その他	304	112
特別損失合計	8,638	112
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,355	△12,094
法人税、住民税及び事業税	8,831	7,956
法人税等調整額	△13,255	△416
法人税等合計	△4,424	7,540
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△19,634
四半期純損失(△)	△30,931	△19,634

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,859	130,873
減価償却費	66,278	73,742
株式報酬費用	4,017	5,283
減損損失	—	3,560
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,106	11,044
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,600	28,600
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,414	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△29,104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	2,067
その他の特別損益 (△は益)	135	4,995
為替差損益 (△は益)	—	△4,850
受取利息及び受取配当金	△548	△1,407
支払利息及び社債利息	39,349	40,919
繰延資産償却額	920	—
売上債権の増減額 (△は増加)	24,069	△59,760
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△294,219	△245,331
仕入債務の増減額 (△は減少)	66,317	152,277
その他の資産の増減額 (△は増加)	19,071	△370
その他の負債の増減額 (△は減少)	△6,453	50,813
小計	△40,124	163,352
利息及び配当金の受取額	548	1,407
利息の支払額	△39,349	△37,267
法人税等の支払額	△44,012	△40,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	△122,937	87,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,313	△35,422
有形固定資産の売却による収入	—	50,579
差入保証金の差入による支出	△4,527	△20,079
差入保証金の回収による収入	76,050	21,720
無形固定資産の取得による支出	△5,220	△1,178
その他の支出	△11,220	△5,208
その他の収入	2,546	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,316	10,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	260,000	△61,360
長期借入れによる収入	50,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△297,530	△335,598
リース債務の返済による支出	△2,335	△8,034
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△0	—
ストックオプションの行使による収入	12	—
配当金の支払額	△19,369	△19,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,224	△94,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,982	△11,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△152,827	△7,785
現金及び現金同等物の期首残高	1,162,816	1,187,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,009,989	1,179,402

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

宝飾品等の小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

本邦売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)

当社グループの事業は、宝飾、眼鏡、時計の製造および販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。